

A会場（327教室）			B会場（328教室）			C会場（226教室）			D会場（232教室）		
開始	発表番号・発表者・題目	座長	発表番号・発表者・題目	座長	発表番号・発表者・題目	座長	発表番号・発表者・題目	座長	発表番号・発表者・題目	座長	
9:00	A1 Rodriguez Josue (University of Miyazaki) et al. Investigate the changes in forest harvesting location (2007 - 2021) in Miyazaki Prefecture: A GIS-Based Analysis of Harvesting Behavior	高橋卓也 (滋賀県立大学)	B1 藤野正也(福島大学)ほか 森林中の放射性物質に対する首都圏住民の意識	山本美穂 (宇都宮大学)	テーマ① 森林・草地・山の利用・保全をめぐる多様な文化 柴崎茂光(東京大学) 趣旨説明	竹本太郎 (東京農工大学)	—	—	—	—	
9:30	A2 万木孝雄(東京大学)ほか 林分施業法の経営収支試算 - 東京大学・北海道道庁林業を事例として -		B2 宮野岳明(九州大学)ほか 森林計画対象の人工林に占める国有林面積と国有林施業の分析		C1 西村貴裕(名城大学) 自然保護制度の目的と「文化」 - 日独における制度成立史からの検討		—	—	—		
10:00	A3 石塚 敬人(鹿児島大学)ほか 立木の径径化が素材生産者へ与えた影響 - 宮崎・鹿児島を対象に -		B3 岸野美(東京大学)ほか 長野県佐久地域のカラマツ林業における主伐・再造林問題		C2 古田尚也(大正大学) 保護地域政策における人と自然の関係		—	—	—		
10:30	A4 多田忠義(農林水産省農林水産政策研究所)ほか 林野率の高い大規模市における林業施策と自伐型林業の位置付け	林雅秀 (山形大学)	B4 高橋卓也(滋賀県立大学) 別子銅山は森林にどのような影響を及ぼしたのか：近世から近代にかけての定量的評価	奥山洋一郎 (鹿児島大学)	C3 八巻一成(森林総研関西)ほか 世界遺産における森林の文化的価値	八巻一成 (森林総研関西)	—	—	—	—	
11:00	A5 藤掛一郎(宮崎大学)ほか 育林従事者と伐出従事者の働き方や世帯の状況の比較：2020年国勢調査抽出詳細集計の個票を用いて		B5 山本伸幸(森林総合研究所) 郡制と森林管理		C4 島立理子(千葉県立中央博物館)ほか 旅日記からみる昭和10年代の国立公園		—	—	—		
11:30	A6 林田朋幸(帝京大学) 三重県松阪市飯高地区大規模林業の経営における高齢者の従事 - 1990年代以降の作業日報から -		B6 小池浩一郎(島根大学) 火と森林植生 - その由来と現在		C5 柴崎茂光(東京大学) 森林総合利用施設関連事業の展開と現状からの再評価		—	—	—		
12:00	昼食 サイドイベント「帝国日本と森林」展 (119ギャラリー)										

12:30					C7 西富瑞之助(東京大学)ほか 屋久島における長期滞在型観光の拡大の可能性について	寺崎竜雄 (静岡県立大学)	—	—	—	—
13:00	A7 小菅良豪(にちなん中国山地林業アカデミー) 日本企業における林業部門の現状と課題	尾分達也 (北海道大学)	B7 内藤大輔(京都大学) マレーシア・サバ州における森林管理認証の展開と課題	百村帝彦 (九州大学)	C8 平山和虎(東京大学)ほか 熊野参詣道伊勢路の山道保全・管理における行政機関の役割	柴崎茂光 (東京大学)	—	—	—	—
13:30	A8 前川洋平(北海道立総合研究機構)ほか 北海道の林業・林産事業体における燃料材需要への対応による経営環境の変化	Wonho Chai (韓国カトリック大学)	B8 岩田薫(京都大学) インドネシア・中央カリマンタン州泥炭地における土地利用		C9 井上真理子(森林総研多摩) 1980年代以降の森林科学にみる森林との関わり方の研究の変遷 - 教育を中心に		—	—	—	
14:00	A9 早尻正宏(北海道大学)ほか スウェーデンにおける森林組合員の経済的利益の実現を巡る協同組合法制の性格と組合法制の特徴	佐藤宣子 (九州大学)	B9 Tetsuya Michinaka (FFPRI) et al. Has economic growth been mitigating natural disaster damages in Vietnam? A hybrid approach of panel data analysis		C10 竹本太郎(東京農工大学)ほか 昭和初期の日本における草地面積の検討 - 茅生地に着目して		—	—		
14:30	A10 新永智士(宮崎大学)ほか 森林組合の立木買取における主伐事業地集約の実態と課題	Dong-Ae Shin (北九州市立大学)	—	—	C11 古賀達也(森林総研) 鳥獣害激甚化時代における狩猟と林地利用の調整方策 - 猟区制度に着目して	柴崎茂光 (東京大学)	—	—	—	—
15:00	A11 古川大輔(東京大学)ほか 兵庫県佐用町における町有林化事業の実態分析 - 市町村森林ビジョンの実装と森林環境税の活用事例として		—	—	—		—	—		
15:30	—	—	—	—	C12 齋藤暖生(東京大学) 大桶製作における原木の選定基準と製材技術	—	—	—	—	
16:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16:30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17:30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18:00	学生ピッチ終了後～18時20分 ポスター発表コアタイム（ホワイエ）									
18:30	懇親会（ウエスト5号館アグリダイニング）									

18:30	懇親会（ウエスト5号館アグリダイニング）									
-------	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

A会場（327教室）			B会場（328教室）			C会場（226教室）			D会場（232教室）		
開始	発表番号・発表者・題目	座長	発表番号・発表者・題目	座長	発表番号・発表者・題目	座長	発表番号・発表者・題目	座長	発表番号・発表者・題目	座長	
9:00	—	—	—	—	—	—	—	—	基調講演 9:00～9:40 Robert Nasi (CIFOR) The Future of Wood: Forests, Trees and the Bioeconomy	Takahiro Fujiwara (Kyushu University)	
9:30	—	—	—	—	—	—	—	—	9:40～10:20 Dooyong Eom (Institute for Environment & Urban Management) An analysis of substitution effect of kenaf pulp for carbon neutrality and forest conservation	—	
10:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
10:30	A12 古俣寛隆(札幌市立大学)ほか 地域の森林バイオマス収集可能量に関する一考察	藤掛一郎 (宮崎大学)	B10 大槻峻介(名古屋大学)ほか 市区町村における森林環境税と税の動向：広域的なデータ分析を通して	藤野正也 (福島大学)	テーマ② Comparative Forest Policy D1 Takahiro Fujiwara (Kyushu University) A Way Forward to Comparative Forest Policy in the Future: Connecting Area Studies in Overseas and Japan	Masahiko Ota (Nagasaki University)	—	—	—	—	
11:00	A13 岡裕泰(森林総合研究所)ほか GDPに基づく世界の林産物需要の長期推計		B11 山本美穂(宇都宮大学)ほか 森林環境税・森林経営管理制度にみる市町村林政の現状と課題 - 栃木県の事例より -		C2 Mariana Vergil Saigado et al. (Kyushu University) Landscape Management related Policies in Mexico and Japan		—	—	—		
11:30	A14 林宇一(宇都宮大学)ほか 都道府県管理森林から見る農林業センサス調査の課題		B12 石崎涼子(森林総合研究所) 森林環境税と地方自治		D3 Dzihni Nadhifa et al. (Kyushu University) Challenges to Community-Based Sustainable Tourism in State Forest: Case of Wanagama in Yogyakarta, Indonesia		—	—	—		
12:00	昼食										
13:00	A15 長坂健司(東京大学)ほか 消費者の経験に基づく木材利用マーケティング：経験価値の可能性	立花敏 (京都大学)	B13 稲富拓人(筑波大学) 捕獲されたシカ個体の多用途利用 - ふもとっぱらキャンプ場と兵庫県の事例 -	小菅良豪 (にちなん中国山地林業アカデミー)	—	—	D4 Phyu Phyu Han et al. (Kyushu University) Contemporary Forest Tenure Reforms in Myanmar: Implications for State's Concessions and Participatory Land Approach	—	—	—	
13:30	A16 高梨一竹(東京大学)ほか 地域木材流通における原木市売市場の経営方針の特性 - 全国の原木市売市場の全数調査から -		B14 寺下文貴(鹿児島大学)ほか 野生鳥獣の食肉としての利用について - 日本における「ジビエ」の意味 -		D5 Win Min Paing et al. (Kyushu University) Financing Forests for Climate Change: Ideas, Capital Flow and Limitations		—	—	—		

14:00	A17 竹中昂平（帝塚山大学） 木材問屋・小売業者の役割と価格交渉		B15 前田千春（鹿児島県立短期大学）ほか 沖縄県やんばる地域における共同売店の現状と課題			—	—	D6 Akhmad Viko Zakhary Santosa Gara et al. (Kyushu University) Enhancing Public Communication of Multilateral Climate Discussion in the FOLU Sector	
14:30	A18 天野智将（森林総合研究所北海道支所）ほか 家具用国産広葉樹材供給拡大への条件解明～供給者と需要者の評価の違い～		B16 藍場将司（名古屋大学）ほか エコツーリズムによる地域社会の分断に関する研究			—	—	D7 Elisabeth Sianturi et al. (The University of Tokyo) Politics of Maps in Indonesian Era of Decentralization: Case of KHDPK Forestland Redistribution in Java, Indonesia	
15:00	A19 堀靖人（東北農林専門職大学）ほか 広葉樹利用の地域における意義	坂野上なお （京都大学）	B17 佐藤周平（東京農工大学）ほか 新潟県上越市不動産地区における地すべり防止の公共工事と地元住民との関係	笹田敬太郎 （森林総合研究所）		—	—	D8 Maho Kasori (Kyushu University) The Actual Condition and Challenges of Cultivated Land in State Forest Area : A Case Study in T village, Riau, Indonesia	Takahiro Fujiwara (Kyushu University)
15:30	A20 奥山洋一郎（鹿児島大学）ほか 新たな木材利用としての木製猫砂		B18 片田陽菜（筑波大学）ほか 森林・林家分野の都市山村連携における都市住民の費用負担意識：豊島区民を事例とした選択型実験			—	—	D9 Masahiko Ota (Nagasaki University) Politics over Definitions of the Forest in Contemporary India	
16:00	—	—	—	—	—	—	—	D10 Zhang Jingna (Kyoto University) How Do Framing Effects Influence Implicit Prices for Agricultural Water Quality in China and Japan? An Enhanced Benefit Transfer Using Choice Experiments	
16:30	—	—	—	—	—	—	—	学生ポスター&ピッチ優秀賞表彰式	—

ポスター発表

ホワイトエ (D会場 [232教室] 前)

発表番号・発表者・題目

P1 松本美香 (高知大学)
森林組合の経営改善に関する一考察

P2 三木敦朗 (信州大学)
ハローワーク求人票にみる林業労賃・賃金制

P3 Rizky Arif Nugroho (The University of Tokyo)
Local Community Perception Toward Mangrove Ecosystem Services in Borneo: A Comparative Study

学生ピッチ

D会場 (232教室)

発表番号・発表者・題目

G1 小林淳平 (京都大学)
タンザニアにおける小農育成林業の展開 (仮)

G2 林陽輝 (宇都宮大学) ら
近世の御用川における木材流送-筏はどのように流れたのか-

G3 上野竜大生 (九州大学) ら
1960年世界農林業センサスを活用した日本全土の人工林植生履歴の考察

G4 エレーラ瞭 (九州大学) ら
チリにおける企業有林の変遷と先住民族の権利—FPICの視点から—

G5 中尾佐織 (九州大学) ら
林業者の土砂災害リスクに対する意識と対応~熊本県認定事業者の経営者・従業員アンケート結果より~

G6 伊瀬知紗環子 (鹿児島大学) ら
伝統的工芸品の森林資源利用に関する現状と存続に向けた取り組み—九州地方を対象に—

G7 藍葉詠生 (九州大学) ら
鳥の鳴き声は多様な森林づくりの合意形成指標となりうるか?~福岡市うきは市を対象に~

G8 佐藤勇輔 (東京農工大学) ら
市区町村による森林環境譲与税の使途・活用額は何と関係があるのか?

G9 松田笙太郎 (筑波大学) ら
市町村による施業規制の現状と課題 —岐阜県郡上市を事例として—

G10 大西布綺 (鹿児島大学) ら
林業労働力確保における林業大学校の役割と意義

G11 谷目葉 (岩手大学) ら
林業公社における森林カーボンプレジットの参画状況に関する研究

G12 清水浩貴 (鹿児島大学) ら
焙乾用薪の流通構造—鹿児島県の経節生産に着目して—

G13 岩野純奈 (九州大学) ら
自助・共助・公助から見る人口縮小社会の林業と狩猟のあり方: 熊本県を事例に

G14 植松 朔子 (東京農工大学) ら
近代日本におけるヤマイヌの消滅と保存: 「ニホンオオカミ絶滅」の再考

G15 船戸祭 (九州大学) ら
林業一人親方の現状分析と将来展望—南小国町を事例に—

G16 出口慶 (東京大学)
災害時の応急仮設住宅の木造化とその地域への寄与に関する研究

G17 中山良哉（九州大学）ら

林業就業による山村への定住条件に関する研究 ～浮羽森林組合の林業従事者の世代別分析を基に～

G18

発表キャンセル

G19 Ye Peiyun（九州大学）ら

Sustainable Development in Mount Fuji: Management of Forest Facility Maintenance and Tourism Growth

G20 片平帆香（九州大学）ら

バイオマス発電におけるPKS流通について

G21 伊神裕人（東京大学）ら

森林環境譲与税に関する県議会の議論状況－議事録テキスト解析から－

G22

発表キャンセル
